

| |
|---------|
| 竹原市収受 |
| 竹第号 |
| 29.5.31 |
| 地理簡図 |
| 月 日 |
| 分欄記号 |
| 保存年限 |

資料様式第3号

| | | | | | | |
|--|-----|--|------|----|---|--|
| 議長 | 副議長 | 局長 | 局長補佐 | 次長 | 係長 | 局員 |
|  | |  | | |  |  |

平成 29 年 5 月 31 日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 堀越 賢二



| | |
|---------------------------|--|
| 視察・調査場 所 | 広島市 (ワークピア広島) |
| 期 日 | 平成 29 年 5 月 10 日 ~ 平成 29 年 5 月 10 日 |
| 経 費 | 17,470 円 |
| 参加者氏名 | 堀越 賢二 |
| 視察・調査的 目 的 | 教育現場において何が本当に必要なのか |
| 内 容 (視察先の現状, 竹原市との比較等) | <p>研修内容「チーム学校」の要点と解説 水野 達朗 氏による研修会</p> <p>「次世代の学校・地域」創生プラン (馳プラン) ~中教審3答申の実現に向けて~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に開かれた教育課程 ・アクティブラーニング ・カリキュラムマネジメント |
| 効果・成果等 | <p>今後、竹原市の教育においては、学校における協働の文化の創出が欠かせない重要なものになると感じました。</p> <p>グループ (同一性) とチーム (多様性) の違いを理解し、予算配分等もしっかりとした上で、人材確保と育成に注力すべきだと感じました。</p> |

※ 実施後 1 ヶ月以内に報告する。

| |
|---------|
| 竹原市収受 |
| 竹原市 |
| 29.8.-1 |
| 処理期 |
| 分類記号 |

| | | | | | | |
|----|-----|----|------|----|----|----|
| 議長 | 副議長 | 局長 | 局長補佐 | 次長 | 係長 | 局長 |
| | | | | | | |

資料様式第3号

平成29年 8月1日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 堀越 賢二



| | |
|--------------------------|--|
| 視察・調査場 | 広島市 (ホテルメルパルク広島) |
| 期 日 | 平成29年 7月26日 ~ 平成29年 7月26日 |
| 経 費 | 2,580 円 (高速バス 竹原駅~バスセンター) |
| 参加者氏名 | 堀越 賢二 |
| 視察・調査目的 | これからの廃棄物処理を考える |
| 内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等) | <p>研修内容「平成29年度 適正処理推進大会」 ~これからの廃棄物処理を考える~</p> <ul style="list-style-type: none"> 広島県における環境行政の現状と今後の課題 広島県環境県民局 循環社会課 一般廃棄物グループ 主査 石田 陽子 市による講演 CoCo 壱番屋事件から見る廃棄物処理 千葉県県土整備部葛南土木事務所 事務次長 (元産廃Gメン) 石 渡 正 佳 氏による講演 廃棄物処理におけるそれぞれの役割 林勘市法律事務所 代表弁護士 林 勘 市 氏による講演 |
| 効果・成果等 | <p>竹原市においては下水道整備の進捗状況は停滞している状況であり、合特法(下水道の整備等に伴う一般産業廃棄物処理等の合理化に関する特別措置法)などの支援体制は早急の課題ではないようにも思えたが、今後整備の進捗状況をみながら、行政と業者との間で認識のズレなどが無いようにしなければならない。</p> <p>一つの事件でも様々な考え方があり、裁判所の判断においても違った判決が発生している状況であり、個別に事の発生状況と経過等を把握していく必要がある。</p> <p>竹原市としては、広域の中での立ち位置をしっかりと見定め、住民に丁寧な説明をしていくことで理解をしていただき、推進すべき事はしっかりと進めるべきだと思いました。</p> |

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

| |
|---------|
| 竹原市収受 |
| 竹第号 |
| 29.8.-1 |
| 処理期日 |
| 分類記号 |
| 保存年限 |

資料様式第3号

| 議長 | 副議長 | 局長 | 局長補佐 | 次長 | 係長 | 局員 |
|--|-----|--|------|----|---|--|
|  | |  | | |  |  |

平成 29 年 8 月 1 日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 堀越賢二



| | |
|-------------------------|---|
| 視察・調査場 | 広島市 (ワークピア広島) |
| 期日 | 平成 29 年 7 月 28 日 ~ 平成 29 年 7 月 28 日 |
| 経費 | 2,360 円 (高速バス 竹原駅~広島駅) |
| 参加者氏名 | 堀越賢二 |
| 視察・調査目的 | タブレットから始まる ICT化と「開かれた議会」 |
| 内容 (視察先の現状、竹原市との比較等) | <p>研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①議会 ICT化と「開かれた議会」への展望 三次市議会議員 福岡誠志氏による講演 ・タブレット導入のきっかけから導入までの経緯等について ②タブレットで議会のワークスタイルを変革 株式会社NTTドコモ 齋藤伸一氏による説明 ・導入済み議会の紹介等 ③タブレットから始まる ICT化と「開かれた議会」 東京インタープレイ株式会社 米田英輝氏による説明 ・「SideBook クラウド本棚」や導入に向けての説明等 ④アップルジャパンより商品の説明等 |
| 効果・成果等 | <p>今後より一層、竹原市議会が市民の皆さんにとって「開かれた議会」と感じていただくためには、広報や広聴(特に広聴の部分)に力を入れていかなければならないと感じています。正確な情報をリアルタイムで提示できることは非常に重要なことで、災害時などにおいても重要な役割を果たすのではないかと。また行財政改革の面からみても経費の削減にも寄与することができ、税収が減少していく今後の状況を鑑みると、竹原市においてもタブレットの導入・資料のペーパーレス化を推進していくことが必要である。しかしタブレット導入・資料ペーパーレス化については慎重に協議していく必要も同時に感じた。</p> |

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

| |
|----------|
| 竹原市収受 |
| 竹原第号 |
| 29.8.-7 |
| 処理期限 月 日 |
| 分類記号 |

資料様式第3号

| | | | | | | |
|--|-----|--|------|----|--|--|
| 議長 | 副議長 | 局長 | 局長補佐 | 次長 | 係長 | 局員 |
|  | |  | | |  |  |

平成 29 年 8 月 7 日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 堀越賢二



| | |
|--------------------------------------|---|
| 視察・調査場 所 | 東京都渋谷区代々木 1-36-4 (全国理容生活衛生同業組合連合会ビル) |
| 期 日 | 平成 29 年 8 月 3 日 ~ 平成 29 年 8 月 3 日 |
| 経 費 | 44,300 円 |
| 参加者氏名 | 堀越賢二 |
| 視察・調査目 的 | 地方議員セミナー2017 保育の充実と地方行政について |
| 内 容 (視察先の 現状、竹原 市との比較 等) | <p>保育にかかわる国・自治体行政の動向 逆井直紀氏</p> <p>保育士不足解決のための処遇改善の道 村山祐一・勝連千賀子氏</p> <p>施設の増設・再編・事業計画見直しへの対応 杉山隆一・若林俊郎氏</p> <p>学童保育(放課後児童クラブ)の状況と課題 木田保男氏</p> |
| 効果・成果 等 | <p>子ども・子育て支援新制度の導入以前、国は強引にこども園への移行等を進める考えを持っており、関連法(2012年)成立過程での大修整により強制的な移行はすべきでないとした。新しい制度が施行される時には、竹原市の実情にあったものにする努力が必要だと感じた。(どの施策においてもだが)働き方改革が叫ばれる現在において、子育て世代への柔軟な理解と行政サービスの拡充は更に推進すべきであると考えている。放課後児童クラブについては其々の市町の状況で大きく変わるが、児童の健やかな成長のためにどうあるべきかを一番に考え、現場だけではなく他地域の状況や改善点などの意見が交換できるものでなければならないと感じました</p> |

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

| |
|----------|
| 竹原市収受 |
| 灯 第 号 |
| 29.10.23 |
| 受理期限 月 日 |
| 分類記号 |

資料様式第3号

| | | | | | |
|---|-----|---|------|---|---|
| 議 長 | 副議長 | 局 長 | 局長補佐 | 係 長 | 局 員 |
|  | |  | |  |  |

平成 29 年 10 月 23 日

議員(視察・調査・**研修**)結果報告書

議員氏名 堀 越 賢 二



| | |
|---------|---|
| 視察・調査場 | 大阪府東淀川区東中島 1-18-22 (新大阪丸ビル別館) |
| 期 日 | 平成 29 年 10 月 16 日 ~ 平成 29 年 10 月 17 日 |
| 経 費 | 55,640 円 (交通宿泊費 25,640 円 研修代金 30,000 円) |
| 参加者氏名 | 堀 越 賢 二 |
| 視察・調査的目 | 親を支える切れ目のない行政支援のために議員としてできること |
| 内 容 | <p>研修内容</p> <p>「家庭教育支援行政の課題と改善策」 ~ケーススタディで解説する行政支援が陥りやすい課題とは~ ・家庭教育支援行政に対する議会のチェック</p> <p>「地域資源を活用した新しい家庭教育支援のカたち」 ~文科省が推進する先駆的な家庭教育支援チームとは~ ・アウトリーチ型家庭教育支援</p> <p>水 野 達 朗 氏による研修会</p> |
| 効果・成果等 | <p>今後、竹原市の教育においては、今以上に市教委と県教委が密に連携し関係強化を図っていくべきであり、財源や人材確保において県からの支援を積極的に受ける体制をつくるべきである。</p> <p>少子化が進む中、将来の税収の源である世代の育成に注力すべきであり、そのためのサポート体制は早急に構築されるべきである。</p> <p>SC、SSW、民生委員や児童委員の今後のあり方についても、社会環境や生活実態にあった方向性を検討していかざるをえない状況にきていると思うので、特別措置など中身も含めて検討をしていくべき時期にきているのではと考えます。</p> |

※ 実施後 1 ヶ月以内に報告する。

| | |
|----------|------|
| 竹原市収受 | |
| 竹第号 | |
| 29.11.14 | |
| 発行期日 | 月 日 |
| 分類記号 | 保存年限 |

資料様式第3号

| | | | | | |
|--|-----|--|------|--|--|
| 議長 | 副議長 | 局長 | 局長補佐 | 係長 | 局員 |
|  | |  | |  |  |

平成29年 11月 14日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 堀越賢二



| | |
|--------------------------|---|
| 視察・調査場 所 | 東京都中央区京橋 1-7-1 戸田ビルディング |
| 期 日 | 平成29年11月 1日 ~ 平成29年11月 2日 (前泊) |
| 経 費 | 73,200 円 (航空チケット・宿泊代・受講料) |
| 参加者氏名 | 堀越賢二 |
| 視察・調査的 目 | 地域経済分析システム「RESAS リーサス」データの活用方法 |
| 内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等) | <p>研修内容</p> <p>自治体が目指すべき地域経済の方向性を探る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の見える化 ・ 地方版総合戦略の基礎データを探る ・ ビッグデータを議員活動に使う ・ 自治体比較の方法 ・ リーサスでの分析手法 ・ 人の流れを見える化できる ・ リーサスの最新地活用事例 ・ データに基づく質問の作り方 |
| 効果・成果等 | <p>類似団体との比較をすることが重要で、それを見つけるアイテムとして「RESAS」が威力を発揮するものであり、そのビッグデータに基づき地域を分析することで、問題点や強みを絞り込んでいく作業ができる。</p> <p>地域課題の発見や観光資源の利活用・提携先の発見・インバウンド対応。産業振興と経済状況の把握・人口減少対策などエビデンスに基づき戦略を練っていかなければ、今後の竹原市の将来展望は図られないと思う。</p> <p>どの部分のデータを捨っていくのか、また、どの部分を何処と連携していくのかなど、<u>客観的なデータはエビデンスとして弱く説得力がないので</u>戦略的に方向性を見つけるのであれば、ビッグデータの利活用は欠かせないものであると再認識した。</p> |

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。